

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
令和7年度 臨時総会 議事録

日 時 令和7年12月15日（月）13時00分から14時59分
場 所 Zoomによるオンライン開催
出 席 加盟104校中：出席98校、委任状4校、欠席2校
定款 第30条（総会の定足数）会員現在数の過半数から出席があり総会成立

オンライン開催ゆえ、坂本理事長から音声および映像の確認が行えることを確認し開催した。

次 第

報告事項

- 1) 第19回日本臨床検査学教育学会学術大会
- 2) 第20回日本臨床検査学教育学会学術大会
- 3) 臨地実習ガイドライン（臨地実習指針へ改称予定）改訂経過
- 4) 臨地実習施設の検索システム構築
- 5) 臨地実習施設向けポスター作成
- 6) 顕彰委員会の発足
- 7) 国家試験問題検討委員会の発足
- 8) 委員会及び部会
- 9) 臨地実習委託料金
- 10) 令和8年度 定時総会日程
- 11) その他

議長及び議事録署名人 選出

審議事項

第一号議案 教育内容5年毎見直しに向けた事前調査まとめ

その他の議案

議長解任

報告事項

- 1) 第19回日本臨床検査学教育学会学術大会
大会長を務められた岡山大学の廣畠聰教授より、以下が報告された。
期間：令和7年8月21日（木）～22日（金）
場所：岡山大学鹿田キャンパス
参加人数：533名
日本臨床検査学教育協議会加盟校教員：311名
学生・大学院生：192名
日本臨床衛生検査技師会会員：3名
招待ご登壇者：2名
協賛団体参加者：10名
上記以外の参加者：15名
- 2) 第20回日本臨床検査学教育学会学術大会
大会長を務められる九州大学の勝田仁教授より、以下の案内がされた。
テーマ：『臨床検査学 次の20年へ！ - 目指す未来、実現への課題 -』
開催日：2026年 8月27日（木）～28日（金）
会場：九州大学病院キャンパス 百年講堂
担当校：九州大学
大会長：勝田 仁（九州大学）
副大会長：石井 直仁（北里大学）
実行委員長：重藤 寛史（九州大学）
- 3) 臨地実習ガイドライン（臨地実習指針へ改称予定）
主に様式8・様式10に関して修正予定であることが報告された。
- 4) 臨地実習施設の検索システム構築
日本臨床衛生検査技師会（日臨技）のシステムへ、本会も協力し臨地実習施設で「必ず実施」「必ず見学」「望ましい」行為を検索可能なデータベースを構築し、令和7年度中の公開を目指していることが報告された。
- 5) 臨地実習施設向けポスター作成
日臨技と共同で作成し、厚生労働省より後援許可を取得したこと、関連団体から後援許可を取次第に公開・配布予定と報告があった。
- 6) 顕彰委員会の発足
顕彰規定 第3条に基づき、本年度の顕彰委員が理事会で承認され、永年精励賞について、顕彰委員会にて推薦された対象者の内容を確認し授与されることが報告された。また、本年度から機関誌である臨床検査学教育へ受賞者の同意を得た上で氏名と所属校を掲載するとの案内があった。
- 7) 国家試験問題検討委員会の発足
令和8年2月実施の第72回臨床検査技師国家試験問題検討委員会を、大瀧理事が統括して発足し、本年度も国家試験の出題内容について検討を行うことが報告された。
- 8) 委員会及び部会報告
調査研究委員会
令和7年度 永住権を有さない外国籍学生に関する実態調査に関する調査結果を会員校へ配信し、会員校専用ページに掲載済みであると報告があった。

地区部会委員会

各支部で以下の活動が報告された。

- ・近畿中国四国部会総会(令和 7 年 6 月 8 日)、オンライン開催
- ・中部部会総会(令和 7 年 11 月 12 日)、オンライン開催
- ・九州・沖縄部会総会(令和 7 年 11 月 28 日) 沖縄県立博物館・美術館 美術館講座室

広報委員会

- ・令和 7 年度「こども霞が関見学デー」視察

日時：2025 年 8 月 6 日（水）、場所：厚生労働省

臨床検査振興協議会の加盟団体として視察および運営補助業務を行った。

- ・ウェブサイトの更新

日臨教ウェブサイトの更新作業を進め、その一環で執筆協力をお願いしたい。

研修委員会

- ・令和 7 年度第 1 回教員研修会の実施

令和 7 年 9 月 25 日（木）13 時～14 時

講師 進研アド 枝廣 玲志 様 「高校生の現状と臨床検査分野へ導くために」

出席者 160 名以上

- ・令和 7 年度第 2 回教員研修会の実施計画

令和 8 年 3 月中旬～下旬の実施に向けてテーマを検討中

学会運営委員会

- ・第 21 回 日本臨床検査学教育学会学術大会

大会長：石井直仁（北里大学医療衛生学部医療検査学科）令和 9 年（予定）

- ・第 22 回 日本臨床検査学教育学会学術大会

開催校：東北大学：令和 10 年（予定）

- ・第 23 回 日本臨床検査学教育学会学術大会の開催校

開催校：四日市看護医療大学：令和 11 年（予定）

学術委員会

- ・科目別分科会（令和 7 年 8 月 21 日）

岡山大学での学術大会にて、10 分科会が対面形式で開催

- ・第 1 回学術委員会（令和 7 年 10 月 29 日）

分科会役員および学術委員の変更

血液検査学分科会：会長を關谷暁子（北陸大）から小笠原篤（国際医療福祉大・大田原キャンパス）に交代するが、学術委員は關谷暁子氏が継続

病理組織細胞学分科会：現会長の任期を 1 年間延長

遺伝子検査学分科会：会長・副会長ともに現職が継続し、学術委員は会長が継続

臨地実習前技能修得到達度評価の標準化・スリム化及び外部評価導入に関する検討状況

評価方法の標準化・スリム化に向けて、原案作成を進める予定。

外部評価は将来的な導入の必要性を共有し、導入への課題を整理し、段階的導入を検討していくことを確認した。

- ・第2回学術委員会（令和7年11月25日）

臨地実習前技能修得到達度評価について、現行分類は維持しつつ、各分科会に評価内容のスリム化を依頼。まずスリム化を進め、その後具体的な審査基準を協議予定。

9) 臨地実習委託料金

臨地実習委託料金について目安を提案するため、臨地実習委託料金に関する調査実施について、丁寧に対応したく理事で十分な意見交換を行なった。賛成論・慎重論いずれも説得力ある意見であり、早急に実施せず本年度の調査は控えることとした。

10) 令和8年度 定時総会日程

多くの方が参加できるよう、Zoomにて以下で開催予定が報告された。

理 事 会：令和8年5月11日（月）13時-14時

定時総会：令和8年5月25日（月）13時-16時

11) その他

会員校から受けた問い合わせに関し、以下の回答を坂本理事長が行った。

- ・賛助会員からの案内について

本会事務局より賛助会員からの案内は、新刊または新たな取組等に関し一回と限定し、案内している。

- ・教科書協力について

特定出版社のみへ協力ではなく、協力依頼を受けた場合はその都度対応を行う。

- ・タスクシフト関連の学内実習

令和6年度に実施した学生向け告示研修の通りに行う必要はなく、実習指導者は医師または看護師以外であっても支障無い。

議長、議事録署名人の選出

議長に大瀧博文理事を選出し、議事録署名人として吉田繁理事、宮本綾理事が指名された。

審議開始前に議長より、投票機能もしくはチャット機能で意思疎通が行えることの確認がなされた後、14時32分より審議を開始した。

議案審議

第一号議案 教育内容 5年毎見直しに向けた事前調査まとめ

臨床検査技師では令和4年度から新カリキュラムが適用されたことから、次期「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」に向けた準備も兼ね、令和6-7年にかけて新カリキュラムについて調査を行った。

この内容をそのまま厚生労働省へ提出するのではなく、次期「臨床検査技師学校養成所カリキュラム等改善検討会」に向けた際の事前準備として、日本臨床衛生検査技師会と意見を集約する際に、本会としての意見・要望として用いる内容である旨が、坂本理事より説明された。また、修正または加筆が必要な際には、本会事務局へ連絡を頂きたい旨の説明もあった。

審議の結果、出席正会員の過半数以上の賛成を得て承認された。

その他の議案

なし

以上、予定していた報告及び審議事項を終え、Web会議でも滞りなく進行できたことを議長が確認し、14時59分に終了した。

令和7年12月16日

代表理事(理事長) 坂本秀生 印

議事録署名人 吉田 繁 印

議事録署名人 宮本 綾 印